

## ポリテクセンター修了者の活躍事例

ポリテクセンター宮崎 機械設備保全科

平成27年度修了 株式会社ソディック エフ・ティ 金型成形事業部 入社  
有馬 直紀さん(男性 30代) (前職 製造業)

### ポリテクセンター宮崎での訓練

有馬さんが学んだポリテクセンター宮崎の機械設備保全科は、機械加工作業や設備保全等への就職を目標とし、旋盤、フライス盤を始めとした汎用工作機械の操作、NC工作機械のプログラミングと操作、アーク溶接、CAD製図、機械保全、電気保全を習得します。また、訓練5ヶ月目に実施される企業実習を通して現場の雰囲気を感じ、残り約2週間で課題をクリアしていくフォローアップ訓練を設けています。

本人コメント

精密プラスチック成形品コネクターを生産する為の超精密金型の組立仕上作業に携わっています。ポリテクセンター宮崎で得た知識を生かし、上司や先輩方の指導を受け日々金型についての知識や技術を学んでいます。

### 就職先企業での活躍

株式会社ソディック エフ・ティ 金型成形事業部 (宮崎県宮崎市)

当事業部では、グループ会社であるソディックと共にプロフェッショナルの現場で培ってきたノウハウと技術を生産設備に活かし、ソディック製放電加工機、ワイヤー放電加工機、マシニングセンター、金属3Dプリンターを駆使して精密金型製造を行っています。成形機や各種精密加工装置により繊細形状(主にコネクター)のインサート成形を行うなど、設計から製造自動化技術での一貫した設備で生産を行っています。



#### 取扱項目

精密金型、精密成形品の製造、開発、製造

(株)ソディック エフ・ティ 金型成形事業部では、現在10名のポリテクセンター宮崎の機械設備保全科修了生が活躍しています。

### 職場での活躍

精密プラスチック成形品コネクターを生産する為の、超精密金型の組立仕上作業に携わっています。ミクロン単位の金型部品を集結し微細な調整を行う技術力が必要で日々難易度の高い作業に挑戦しております。



### 上司からの声

精密プラスチック成形品コネクターを造るには、樹脂材料を流し込む金型が必要になりますが、その金型は部品数百点からなる超精密部品の集合体です。有馬さんが配属された部署は“金型仕上整備課”という、金型の医者のような位置づけになります。部品毎に手仕上で加工や調整処理をして組立て整備を行う作業で、多様な加工が有ります。良質な製品を製造する為に重要な工程です。

入社間も無いですが、日々金型という構造や知識を習得し匠な御医者さんになって貰いたいと願っております。